

【宗像創造スクール】宗業塾 第2回／全3回

新しいビジネス、出会いが生まれる場所 中 むななか

「神像と島」 宗像・中ノ島 世界遺産CITY

令和5年度 宗像ビジネス交流会 むなBIZ 宗像

宗像創造スクール「宗業塾」〈全3回〉

第2回 テーマ「“創業”を決意したあとの
順序と地域との関係」

～副業or本業、個人事業or法人、どんなコミュニティに属するのか～

創業を決意したけど、実際どのような形で社会との関わりをもてばいいのか？
簡単な手続きを済めた、自分にあった創業の形とは？
その際に地域コミュニティとの関わり方、コミュニティを上手に
活用する方法と活用事例の紹介。
創業を決めたけど、進め方が本当に正しいのか？と
悩んでいる、そんな方におススメ！

多岐参加でOK!

開催日 2024. 2/17 (土)
13:00～17:00

【参加無料】 ※要事前申込

会場 fabbit 宗像
(赤間駅前直結・駐輪場2F)

講師 日本ピアボン協会 直前理事長
諏訪 秀一氏

日本に起業したピアボンを普及し、現在関東
圏内に505軒以上のピアボンを誕生
させる、その後公益社団法人日本
青年会議所で2022年度理事会構成
メンバー入り全国で社会と経済
の関わり方の講演を全国で行った。

今回は、宗像創業スクール「宗業塾」と題した、全3回の講義の内第2回を行った。テーマは「“創業”を決意したあとの順序と地域との関係」講師には日本ピアボン協会の直前理事長である諏訪秀一氏を招いた。

前回同様、土曜日開催、4時間のイベントの中で、まず初めに税理士としての顔を持つ同氏は複数の起業に立ち会った経験から金銭の面での起業することでのメリットデメリットについて講義を行った。続いて、本題となる起業後のコミュニティ形成について複数の業種、業態での代表を務める同氏がなぜ今その立場にいるのか、またその立場において既存コミュニティ参加し、どのような事を行い、どう立ち振る舞うべきかについて講義を行った。ただ参加するのではなく、コミュニティの中での立ち位置を形成するにあたり、押し引きの大切さ、その活用方法は参加者の今いる状態、立場に関わらずすべてのコミュニティにおいて有用な広義になったと思われる。

講義の後半では、諏訪氏も所属していた青年会議所から福岡青年会議所副理事長を務める原氏が同所の意義や活用方法を内側から経験とともに講演を行い、同じ青年会議所のうち、宗像青年会議所で理事長を務めていた泉川氏も自身の体験、経験からコミュニティの大切さについて講演を行った。

両氏の講話は参加者の中には同じ立場でもあり、今後起業を行おうとする方からすれば道筋を知る貴重な体験談となった。

セミナー終了後の懇親会では早速参加者と講師でのコミュニティが出来ており、SNSを通じた交流が始まっており、今後の展開が期待できる会であったと考える。



ホワイトボードを用いて起業でのお金の流れについて説明する諏訪 秀一氏



自身の経験談を語る講師2名(原 翼氏上、泉川 尚進氏・下)

講演を終えて

- A氏「コミュニティに入っているだけで貢献をすることの大切さを知った。」
- B氏「泥臭い話でとても理解しやすかった。ポイントを説明してもらってとても参考になった。」
- C氏「現実的で実践できることも多くあり、背中を押していただきました。」